



キャンパスマスタープランの目標・基本方針

大阪大学のキャンパスは、大阪大学憲章、中期目標、中期計画に示されるアカデミック・プランに沿った、研究・教育等の諸活動が展開する舞台であり、それにふさわしい環境の整備と質の確保を目的とする。

これを検討する枠組みとして、以下を設定した。

<目標>

- ・誇りと愛着がもてるキャンパス
- ・多様で豊かな交流が生まれるキャンパス
- ・地域社会や世界に開かれたキャンパス
- ・キャンパス間、周辺関連施設との連携をもったキャンパス

<基本方針>

- ・資源・歴史を継承し育てる、個性ある環境づくり
- ・将来にわたり教育・研究が実効的に展開できる環境づくり
- ・学生・教職員が充実したキャンパスライフを展開できる環境づくり
- ・アクセシビリティの高い交通と情報環境づくり
- ・地域に貢献できるキャンパスづくり
- ・国際交流に貢献できる世界水準の教育・研究環境づくり
- ・地球環境に配慮したキャンパスづくり

大阪大学キャンパスマスタープランの内容・構成

大学に通う全ての人々が魅力を感じ、また地域の人々に愛されるキャンパスをつくるために、基本的な考え方と方策をまとめる。

共用施設、共用空間に関する整備方針を示す。→ [キャンパスコモンの整備方針](#)

内容・構成

1) ゾーン及び骨格・核の構成

- ① 一体として空間形成の方針を設定することが望ましいゾーンの構成
- ② キャンパスの顔を形成する軸となる空間-メインストリート等
- ③ キャンパスのイメージの核・シンボルとなる空間-広場、モニュメント等
- ④ 賑わいと交流の核となる空間
- ⑤ 副次的ストリートの良好な景観の形成

2) 自然を活かしたアメニティの形成

- ① 緑地、街路樹、沿道緑化、法面緑地等の適切な造成と維持・管理

3) 全ての人々が安全に快適に移動できる環境の形成

- ① 歩行者、自転車、自動車の環境

4) 達成手法

- ① リーディングプロジェクト（早期整備が必要なプロジェクト）
- ② デザインガイドライン（順次整備を進める際に身近な環境整備の指針）
- ③ アクションプラン（美化活動などの活動計画）

マスタープラン作成の手順

- ・キャンパスの伸ばすべき個性・空間像・資源および問題箇所の点検・読みとり
- ・継承する場所・風景、部局ごとの個性の継承など



キャンパスマスタープラン作成WG（吹田地区、豊中地区）
における意見聴取

学生・教職員等のアンケート調査の実施と分析

ディベロップメントプラン
現下の施設整備計画（参考：概算要求資料）

- ・ゾーン及び骨格・核の構成
- ・活かすべき自然資源の分布
- ・交通動線の構成
- ・達成手法（リーディングプロジェクト、デザインガイドライン、アクションプラン）

